

電磁応用

第53号 1999年8月

平成11年度第1回理事評議員会議

去る、平成11年7月28日、羽沢ガーデンに於いて、平成11年度第1回理事評議員会議を開催し、下記議案を承認し、今後の運営について討議を行った。

資料 第1号議案 平成10年度 事業成果報告

第2号議案 平成10年度 事業決算報告

添付資料 研究所名簿

平成10年度 研究成果

理事 大附 辰夫
論文

- [1] 戸川望, 荒宏視, 柳沢政生, 大附辰夫 “ツリー状に接続されたLUTを対象とした深さ制約付きテクノロジーマッピング手法” 電子情報通信学会第11回回路とシステム軽井沢ワークショップ論文集, pp. 343-348, 1998.
- [2] 中嶋雄一郎, 鈴木将貴, 戸川望, 柳沢政生, 大附辰夫 “分布定数回路の遅延感度解析に基づくクロック配線最適化手法,” 情報処理学会研究報告, 98-D A-88-4, 1998.
- [3] N. Togawa, K. Hagi, M. Yanagisawa and T. Ohtsuki, “An FPGA layout reconfiguration algorithm based on global routes for engineering changes in system design specifications,” IBICE Trans. on Fundamentals of Electorronics, Communications and Computer Sciences, Vol. E81-A, no. 5, pp. 873-884, 1998.

- [4] N. Togawa, M. Yanagisawa and T. Ohtsuki, "A fast scheduling algorithm based on gradual time-frame reduction for datapath synthesis," IEICE Trans. on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, vol. E81-A, no. 6, pp. 1231-1241, 1998.
- [5] 中本真児, 戸川望, 柳沢政生, 大附辰夫 "最適解を保証するリソースバインディング手法," 情報処理学会DAシンポジウム'98論文集, pp. 245-250, 1998.
- [6] 寺島信, 戸川望, 柳沢政生, 大附辰夫 "機能メモリを使用したプロセッサを対象とするハードウェア/ソフトウェア協調合成システム," 電子情報通信学会技術研究報告, CPSY98-85, 1998.
- [7] N. Togawa, M. Yanagisawa and T. Ohtsuki, "Maple-opt: A performance-oriented simultaneous technology mapping, placement, and global routing algorithm for FPGAs," IEEE Trans. on Computer-Aided Design of Integrated Circuits and Systems, vol. 17, no. 9, pp. 803-818, 1998.

(以下次号)

第128回電気通信技術懇談会(11.3.30)

——早稲田大学の本庄地区大学院構想——

早稲田大学の富永英義教授から本庄地区の大学院構想について伺った。

早稲田大学が本庄に高等学院を設置して以来、環境の整備が遅れているが、1995年埼玉県が本庄市を中心とする開発計画を策定し、その中でキャンパスを「早稲田リサーチパーク地区」と位置づけた。そして先端的科学技術の研究、人材育成および情報通信の集積が期待されている。

早稲田大学理事会は1998年2月に本庄キャンパスの基本計画を決定したが、1998年6月に先ず国際情報通信研究センタが発足し、富永教授が所長に就任された。

第129回電気通信技術懇談会(11.4.23)

——古代日本における皇統と文化——

古代日本における皇統の継承と文化について川原田理事長から伺った。

昨今日本の社会と経済の歴史について、多くの研究と論説が展開されている。しかしその基盤である産業と科学技術の実体については必ずしも体系的な研究はなされていない。

天皇制の整備に伴い、仏教の導入もあり平安時代を迎えると、急速に文明が開化し治水・土木の技術の発展を促し建築技術にあっては高い水準に達した。

天皇の時代から武家による支配の時代へと変遷したが、支配される大衆の中に逐次芽生えてきた科学技術が、現実の産業・経済・社会のベースとなっている。それ

が政治と思想をも変革してきたといえよう。

古代の天皇について色々の視点からお話しを伺い討議をする中で、未来の文化と技術についての展望を垣間見た思いがする。

第130回電気通信技術懇談会（11. 5. 21）

—— 建築部門からみた電電の世界 ——

⊙日設の代表取締役会長栃本邦夫氏を招き、電々建築にまつわるお話しを伺った。栃本氏は昭和31年から約30年間、電電公社の建築部門に在職された。

建築の仕事は建築用地の取得、通信設備や要員を収容する建物の設計施工、働く人や周辺の人に関する調和の問題等多岐にわたっている。阪神大震災で局舎が一つも損傷しなかったニュースは永年の安全に関する弛まぬ努力の成果であると思っ

ている。また、短期間に建物を仕上げる必要から、コンクリートの部材を工場で作

り、現地で組立てる方法を発案した。これはその後日本のプレハブ技術に発展している。

建築物は街を形作るから、都市美観への配慮も建築の重要な分野である。建築の

構造、広告のあり方、はては企業のC Iにかかわる諸問題まで、建築部門の仕事は

皆さんの予想を上回る広範な分野を含んでいる。

第131回電気通信技術懇談会（11. 6. 11）

—— 国際通信の新しい潮流（世界規模での提携合併） ——

国際デジタル通信⊙の元専務星野孔昭氏にお願いして、昨今賑やかな国際通信についてお話しを伺い討議を行った。

1996年米国の通信法改定、1998年のWTO通信自由化合意により、世界的に通信事業者の提携合併が大きな潮流となっている。

これは最近爆発的な成長を遂げている、インターネットを中心とする新しいデータ系のビジネスに対応して、通信事業者がエンドエンドでのユーザーの囲い込みを意図しているからである。

また、これまで国毎に行われてきた、国際通信事業者間の国際通話に対する料金精算方式が急速に崩壊し、事業者個々の折衝方式へと移りつつある。経済的な迂回路の設定や、中継事業者を介した接続、相手国への交換機（ハブ）設置等、アントラディショナルな方式も広がる。この事は、今後、通信ビジネスが小売り業と卸業に分化し、それぞれ異なった戦略を求められるている。

以上を展望すると、今後は少数の大企業グループに国を超えての統合が進む中で日本の通信事業者が如何に主導権を発揮出来るかが新しい問題となろう。

故川原田政太郎理事長関係の古い記録

古い資料（中村忠男氏のメモ）を発見したので、記録として保存の為整理してみた。昭和5年、東京朝日新聞講堂・仙台・札幌と巡回して早大式テレビの公開実験を行った時の、関係者名簿である。

主任指導者 川原田政太郎 早大教授 大4早大卒 (歿)
 実施指導者 俵田 竜夫 早大教授 昭2早大卒 (歿)
 実施指導者 早川 幸吉 早大助手 (歿)

実施担当

木下 誠二 NHK 昭2早大卒 (歿) 苦辺地 貢 NHK 部長 (歿)
 今幡 兼六 NHK 昭7早大卒 矢崎 阡司 NHK (歿)
 和地 武雄 NHK 昭7早大卒 (歿) 唐崎 平太郎 NHK (歿)
 松原 晋 早大教授 昭7早大卒 (歿) 木村 功 NHK (歿)
 大串 春彦 東芝 昭7早大卒 (歿) 河原 英二 NHK
 中島 博美 NHK 昭7早大卒 (歿) 服部 次郎 NHK (歿)
 黒子 忠夫 NHK 昭7早大卒 佐々木 忠 NHK (歿)
 佐保田 巽 NHK 昭7早大卒 筒井 滉太郎 NHK
 大柴 敏行 大日電線 昭7早大卒 伊藤 楯男 NHK
 鈴木 誠一 富士通 昭7早大卒 小林 謙三 NHK (歿)
 中村 忠男 NHK 昭7早大卒 坂上 真治 NHK (歿)
 野呂 美登 東芝 昭7早大卒 (歿)
 山村 芳次 三葉電気 昭7早大卒 (歿)

なお、このグループには入っていないが、昭7卒には田中末雄・小谷鍊治・平野正勝氏の名がある。(川原田)

受領資料

1. 平成10年度学術情報データベース実態調査報告書
 ,99-4-8 [文] 学術情報センタ
2. はかる No.51 '99-4-23 (株)日本計量機器工業
3. 関西大学工学研究報告 41号 '99-4-26 関西大学工学部
4. 日立 '99-5, '99-5-14 (株)日立製作所
5. 三洋電機技報 Vol.31 No.1 ,99-6-2 三洋電機(株)協議会
6. アジアの記憶
 アジア電気通信事情を視察して ,99-6-2 桑原守二
7. JTT Vol.22 no.7,8 ,99-7-5 NTT AT

電磁応用 第53号

平成11年8月1日

編集発行人 川原田安夫

発行所 (財)電磁応用研究所

〒107-0062 東京都港区南青山5-1-10-808

TEL. (03) 3499-1888

FAX. (03) 3499-1989